

おかげさまで
53周年 ふれあいタイム 第199号

3月1日～6日限定!!

完全予約制シークレット見学会開催のお知らせ☆

「SE構法をぜひこの機会に体感してください」

会場：岐阜市北部（ご住所はご予約を頂きました方のみへのご連絡となります。）

今回の見どころ

- ・長期優良住宅（住宅性能は文句なし）
- ・耐震等級3（耐震性お墨付き）
- ・25帖間仕切りなしのワンルームLDK
- ・6帖の吹抜けが家中を明るくしてくれます
- ・SE構法の躯体にウレタン吹付断熱が施工された直後（内装壁を仕上げる前）です

栃井建設の施工精度をぜひじっくりご確認いただけるチャンスです

ぜひご連絡下さい。



《申し込み・お問い合わせ》 0120-520-523 担当 渡邊 勲

2月7日「開運よもやま話」開催しました

恒例の大田昌和先生の「開運よもやま話」を開催しました。1時間半の「おもしろおかしい」お話を聞き今年の運勢に喜んでみたり、ちょっと心配したりと、皆様それぞれご自分の運勢を確認しました。厄年や八方塞がりの年でもそれをわかっていれば、乗り切れる教えていただきました。



岐阜市河渡 土地販売情報

分譲地：岐阜市河渡3丁目103番地

建築条件付
残り3区画！

土地価格 59.8坪(坪17万円～)

1,017 万円より

～申し込み・お問い合わせ～

0120-520-523

担当 渡邊 勲

どんな小さなことでもお気軽にご相談下さい。
当社は、お客様満足度地域No.1を目指しています。



開運伊勢神宮参拝ツアー

平成28年4月17日(日)

※正装での正式参拝です

岐阜出発 6:30～岐阜到着18:00



参加費(昼食代含む) 5,000円
小・中学生 2,500円

かなりの距離を歩きますので
足に自信のない方はご相談下さい

※「電動車いす」あります。

お問い合わせ 0120-520-523 担当：栃井紀子

栃井建設工業(株)ホームページ

<http://www.totii.co.jp>



2016年 暮らしの瓦版 3月号

すぐできる！既存住宅の省エネ対策

電気温水器をエコキューに

真っ先にやるべきは、高効率給湯器を採用すること。例えば、同じ電気を熱源とする機器であれば、電気温水器を自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュー）に交換する。電気温水器のある住宅はガス配管が施工されていない可能性が高く、エコキューに交換することで高い費用対効果が見込める。住宅一戸当たりの平均的な一次エネルギー使用量は年間約七五GJだ。それ一台で約六〇GJもの一次エネルギーを消費する。これをエコキューに交換すると、約一七GJまで減る。一台交換するだけで年間四三GJもの削減になる。（一戸当たり年間五万円ほどの電気代が節約できる）

プロパンガスのエリアでは

プロパンガスのエリアでも、高効率給湯器に交換することを推奨する。プロパンガスは都市ガスと比べてガス料金が高く設定されていることが多いので、高効率給湯器に交換してランニングコストの金銭メリットを簡単に捻出することができます。例えば、プロパンガスを用いるガス給湯器をエコキューに交換する場合のコストメリットを計算する。住宅事業建築主の判断基準によると、ガス給湯器の一次エネルギー消費量は年間二二・二GJ、エコキューとは同一六・七GJと規定している。まず、プロパンガスの単価を五二三円／m³、エコキューの深夜電力単価を一三・一円／kWhと仮定する。1年間のガス使用量は二二・二GJ÷0・〇九九（換算係数）＝二三四・m³となり、年間のガス料金は二三四×五二三円＝十一万七千五百十二円となる。一方、エコキューの一年間の電気使用量は、一六・七GJ÷二・七（換算係数）＝六・一八GJ（二次エネルギー）＝六一八〇MJとなり、電力量に換算すると一七一七kWhとなる。年間の電気料金は一七一七×一三・一円＝二万二四九三円となる。

以上の結果から、ガス料金と電気料金の年間の差額は、十一万七一千五百二円一二万二四九三円

九万四六五九円となる。プロパンガスによるガス給湯器をエコキューに交換する費用を四〇万円とすると、四〇万÷九万四六五九＝4・2年。約五年で原価を回収でき、それ以降は故障するまで利益が発生する。

在來の浴室はユニットバスに

従来工法の浴室は、ユニットバスに交換することを推奨する。東京都健康長寿医療研究所が一年に行つた調査では、1年間で全国で約一万七〇〇〇人がヒートショックに関連した「入浴中急死」に至つたと推計。そのうち高齢者は一万四〇〇〇人と八割を占めていた。死亡しないまでも健康を損なうと膨大な医療費かかる。医療費の節約を考えると、高齢者住宅のユニットバス化は必須項目であると言える。浴室での事故を防ぐためには、脱衣室をできるだけ二五℃に近づけることが重要になる。湯温は、省エネや高齢者のヒートショック防止を考えると、四一℃以下に抑えたい。慶應義塾大学の伊香賀俊治教授の研究結果によると、脱衣室の室温を平均4℃上げると、介護必要年数が4年へとというデータがある。介護年数が年減ることの金銭的価値は二百万円が最も多い意見です。ユニットバスへの交換は八十万円くらいから対応できる。つまり、やらない理由は考えられないということだ。最近のユニットバスは高断熱浴槽になっている。給湯器を高効率に変えることでも給湯エネルギーは減り、湯が冷めにくくなることで、追い炊きによるエネルギーロスも減る。その結果、給湯器と同時に浴室も交換した場合、原価回収年数は前述した五年よりもさらに短くなる。浴槽だけでなく壁や天井まで断熱リフォームを一気に完了することもできることで、追い炊きによるエネルギーロスも減る。その結果、給湯器と同時に浴室も交換した場合、原価回収年数は前述した五年よりもさらに短くなる。浴槽だけでなく壁や天井まで断熱リフォームを一気に完了することもできる。浴室が既にユニットバスである場合、シャワーへッドが節湯型でなければ付け替えることを推奨する。器具だけでなく入浴時間も重要な要素である。入浴時は時間をできるだけ空けずに入ることを推奨する。

次の人に入れるまでの間は、きちんと浴槽の蓋を閉めてほしい。

窓には内窓や日射遮蔽が有効

窓にはインナーサッシ（内窓）を取り付けることを推奨する。二〇一〇年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会（HEAT20）によると、既存住宅の熱ロスに関しては約三六%が窓だと言われている。まずは暖房消費量が多く、滞在時間が長いリビング・ダイニング・キッチンの窓を優先して設置したい。次に、ヒートショックのリスクが高い浴室、トイレ、洗面脱衣室というように、できるだけ多くの窓にインナーサッシを設置する。夏場に日が当たる窓には、よしず、シェードなど日射遮蔽措置を窓の外側に設置することを推奨する。暑さ対策といえば通風よりも日射遮蔽の方がはるかに効果は大きい。自立循環型住宅開発委員会の「自立循環型住宅への設計ガイドライン」によると、カーテンのよう窓の内側で日射を遮蔽する場合、日射は四割ほどしかカットできないが、窓の外側で遮蔽すると八割程度カットできる。冬場、日が落ちたらすぐにカーテンや雨戸、シャッターを開めることを推奨する。カーテンやシャッターを閉めると、実質的に断熱性能が上がる。冬場、日当たりが良い時間帯はレースカーテンも含めて開け放して日射をたくさん入れる。

エアコンや照明による省エネ

比較的新しいエアコンの中上位機種（再熱除湿タイプ）の場合、ドライ運転の方が冷房運転よりもエネルギーを消費する。なお、エアコンのドライ運転は、市販の小型の除湿器よりは効率が良い。最新型のエアコンは、いかなる冷暖房機器よりも省エネかつ経済的であることを理解しておきたい。寒いと思った時は、エアコンを優先的に使うのが最も効率が良い。十年以上前に購入した冷蔵庫は新製品に交換することを推奨する。「自立循環型住宅への設計ガイドライン」によると、九年以内に確実に元が取れる。白熱電球はLED電球に交換することを推奨する。製品によつてバラツキがあるので、およそ二〇倍になる。

発行

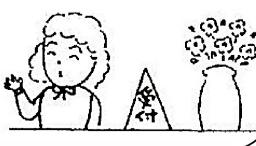
新築・建替え・リフォーム・増改築のことなら

柄井建設工業株式会社

岐阜市河渡3丁目138番地

0120-520-523

ISO9001認証取得



～お貸します～

社屋2階会議室

住所：岐阜市河渡3丁目138番地

広さ：33帖（30人程度・イスあり）

都合によりお貸しできない場合もありますので、ご了承ください。お問い合わせは、総務柄井まで。